

9月27日 会員卓話



大島勝 会員

出身地は、愛知県瀬戸市で、陶器の町「せともの」の生産地です。子供の頃は、陶器を焼くのに石炭を使い、黒い煙で洗濯物は煤で黒くなり大変でした。25歳までサラリーマンで名古屋市内に勤務していましたが、何か商売をしたいと思っていた時、会社に来て在庫品を調査する人がいて、その人が会計士と判り、私も会計士になろうと思いました。飲食店のママに、男は25歳で目標に向かって努力すれば達成出来るというのを教わり、25歳で東京に出て来ました。10年経って資格が取れたので、35歳で独立し、会計事務所を開業しました。

ロータリークラブには平成7年に加入しました。ロータリークラブの言葉に「四つのテスト」がありますが、その中で「真実かどうか」

「みんなのためになるかどうか」を参考にして、税務署の調査官と意見が相違する時、その相違する事項が真実であるかどうか。又、顧問先の会社のためになるかどうかを考えて、行動する事にしていきます。それによって解決した事項は多々ありました。

趣味は、東北地方で「伝統こけし」が福島県から青森県まで10ヶ所に渡り生産されていますが、そのこけしを集めて来ました。

こけしの生産者を「工人」と言いますが、工人の素晴らしいこけしを集めて、自分では日本一のこけしコレクションと思っています。